

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月 22 日

都道府県知事

~~(市長)~~ 広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県杵築市熊野1-111

氏 名 大分キャノンマテリアル株式会社

代表取締役社長 久木元 力

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号0978-64-2111 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大分キャノンマテリアル株式会社 杵築事業所
事業場の所在地	大分県杵築市熊野1-111
計画期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	業務用機械器具製造業
②事業の規模	9,041,935万円
③従業員数	580名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1~3のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図)				
別紙4のとおり				
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（平成 23年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃酸	医療系廃棄物
	排出量	53.308 t	16.340 t	0.004 t
	(これまでに実施した取組) ・「排出物削減委員会」の運営による廃棄物量の削減 廃棄物の有価物化 使用頻度調整による減量化 ・新入/中途社員及び既に入社している社員に対し、廃棄物に関する教育を都度実施し、意識レベルの向上			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃酸	医療系廃棄物
	排出量	59.123 t	0.00 t	0.001 t
	(今後実施する予定の取組) ・「排出物削減委員会」の継続的運営 廃棄物の有価物化の促進 ・時代に即した分別内容及び教育内容の見直し ・トラブルによる産業廃棄物発生の抑制			
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・種類毎の個別室内保管 <引火性廃油、廃酸、医療系廃棄物>			
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状と同様で追加にて新規種類が発生する場合は分別ボックス・表示・置き場の設置			

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
			—
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
			—
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
			—
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
			—

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状	【前年度（平成 ー 年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	—	—	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	—	—	
	(今後実施する予定の取組)			
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（平成 23 年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃酸	医療系廃棄物
	全処理委託量	53.308 t	16.340 t	0.004 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	53.308 t	16.340 t	0.004 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての産業廃棄物は再資源化し、埋め立て処分は行わないことを目標とする活動</li> <li>・社内基準に準じ処理業者を選定し、廃棄物の処理を委託</li> <li>・引火性廃油の有価物化</li> </ul>				

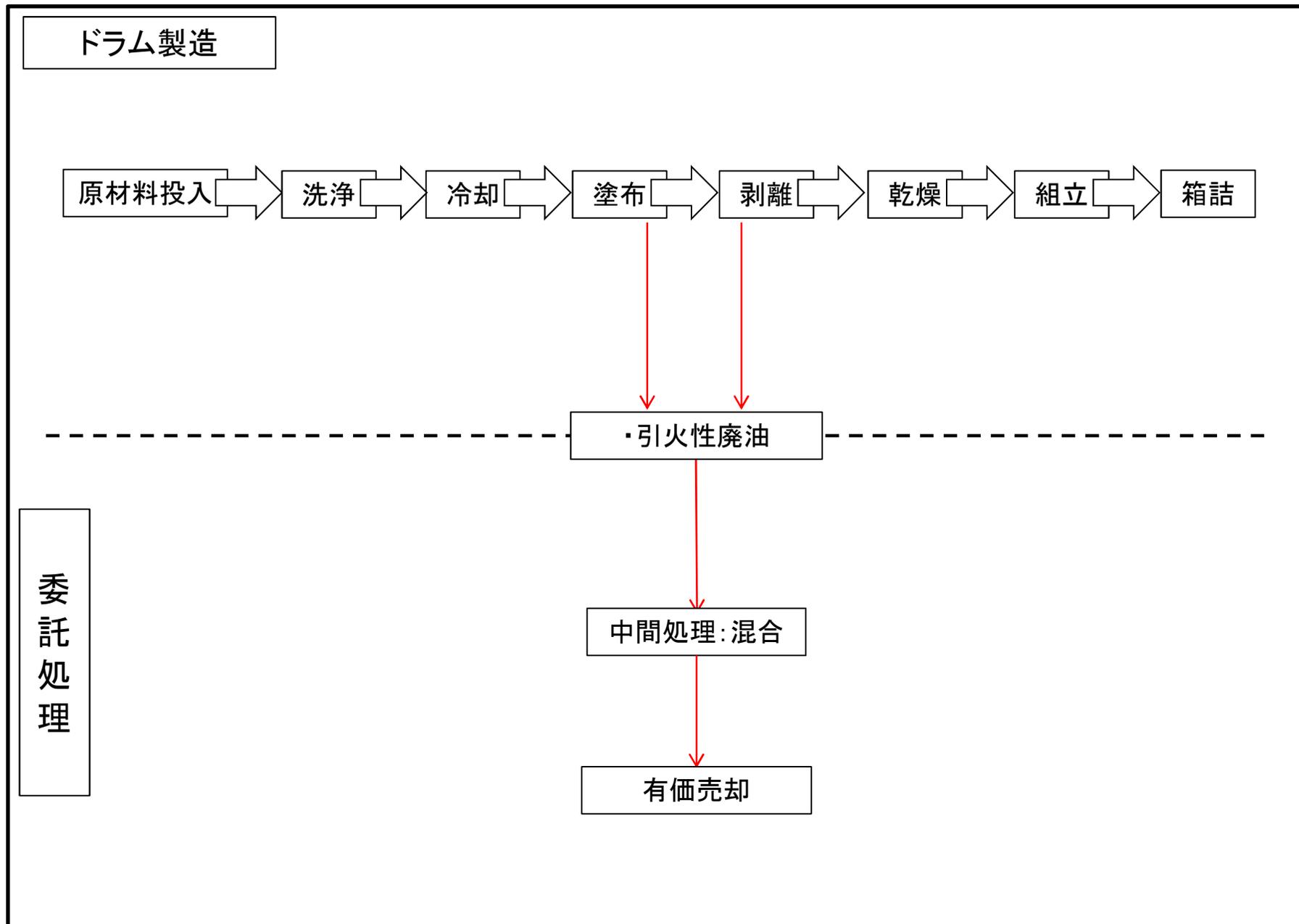
②計画	<b>【目標】</b>			
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃酸	医療系廃棄物
	全処理委託量	59.123 t	0.00 t	0.001 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	59.123 t	0.00 t	0.001 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての産業廃棄物を再資源化、併せて埋め立て処分を行わない管理の維持</li> <li>・法に則り処理業者を選定及び現場巡視を行い廃棄物の適正処理を確認し、委託</li> <li>・産業廃棄物として排出している物を随時有価物化への検討</li> <li>・全般的な産業廃棄物の削減</li> </ul>			
※事務処理欄				

備考

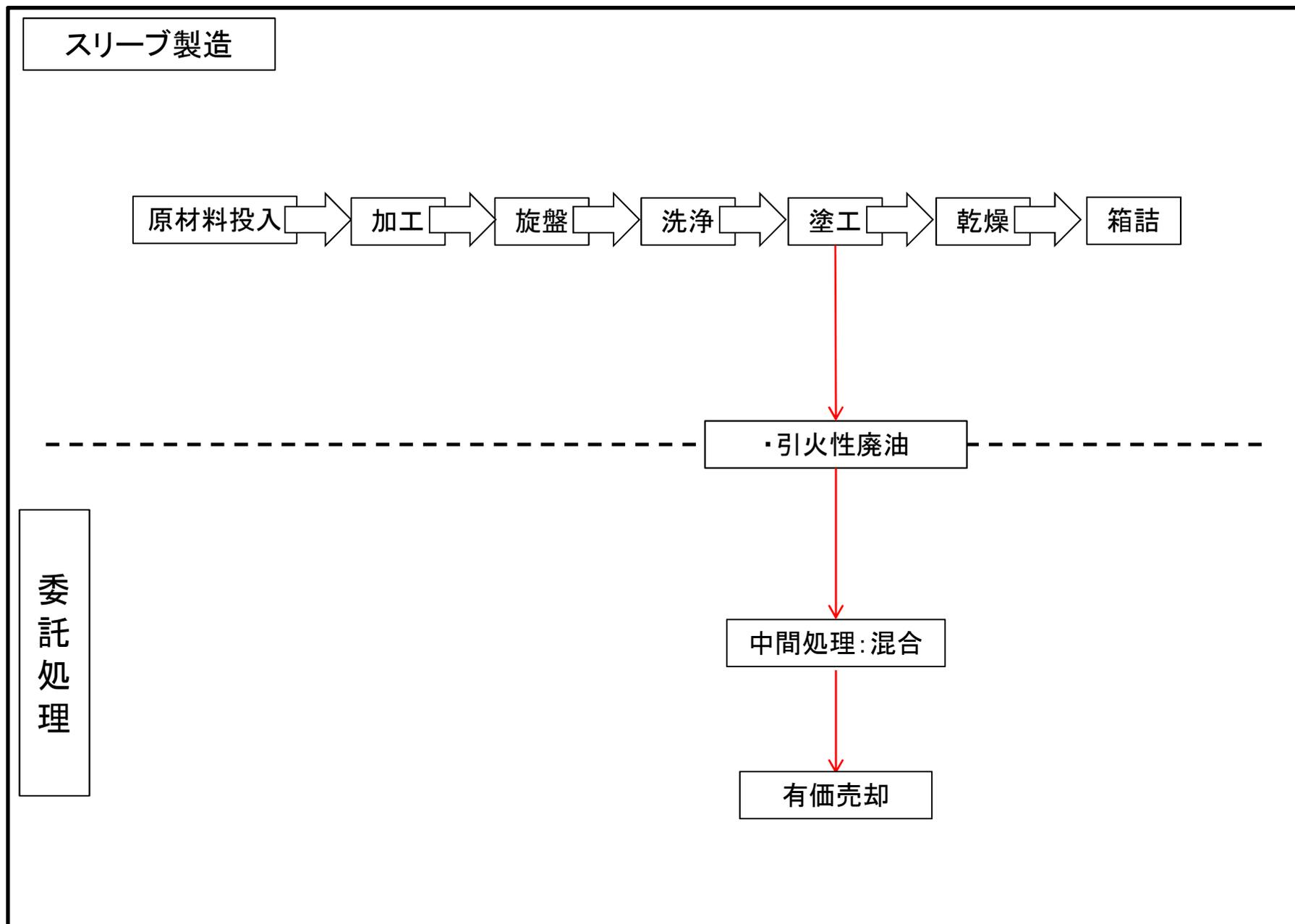
- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

# ④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

別紙1



# ④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程



# ④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

